



3年学年だより

発行日：令和3年7月20日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹

NO. 4

夏休みを迎えるにあたって

校長代理 富樫哲一

最近は突然の激しい雷雨に驚くこともありますが、暑い日が続くようになってきました。7月21日からは、いよいよ夏休みが始まります。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う長期の臨時休業があったため、夏休みは短いものとなってしまいました。しかし、今年度は期間としてはいつも通りの夏休みが戻ってきました。今回は、夏休みを迎えるにあたり、2つのことを皆さんにお伝えしたいと思います。

1. 計画を立てることについて

長期の夏休みを迎えるにあたり、家族旅行等については例年と同様に計画をするのはまだ難しいかもしれませんが、学習や部活動、自分の趣味等については、しっかりと計画を立てて準備している人も多いのではないのでしょうか。

私の中学生時代を思い出してみると、夏休みや冬休みなどの長期の休みの前には、嬉々として学習等の計画を立てていました。残念なことに、立てた壮大な計画のほとんどは、見事に計画倒れになってしまっていました…。今考えてみると、もしかしたら、夏休み自体よりも計画を立てている時間の方が楽しかったような気がします。

会社、国や市などの自治体、そして学校も、計画を立てることから活動が始まります。そして、立てた「計画」を「実行」して、なぜできなかったのかを「調査・分析」し、「改善」を行い、それをもとに次の「計画」を立てる。いわゆるPDCAサイクル（Plan, Do, Check, action）の起点が「計画」です。言うまでもありませんが、組織としても、そして個人としても何かを始めるときに、計画を立てることはその成功を左右するほど重要なことです。

普段の生活を見ていると、（私とは違い）南高校附属中の皆さんは、自分の性格をしっかりと見極めた無理のない計画、また、予期しない突発的な事態に備えるために余裕のある実現可能性の高い計画を今までも立ててきたし、これからもそうできる人が多いのではないかと感じています。本当に頼もしいかぎりです。

2. セレンディピティについて

計画を立てることの重要性を認めた上で、あえて、今回皆さんにもう一つ伝えたいことは、セレンディピティ（英語：serendipity）という言葉です。セレンディピティとは「偶然の出来事から大切なことや本質的なことを学びとること」です。ペニシリン、付箋紙、電子レンジ、使い捨てカイロ…etc、予想外の偶然のことから、世界にイノベーションを起こしたものが世の中にはたくさんあります。このように世界的に有名なものだけでなく、皆さんもセレンディピティを感じたことはあるのではないかと思います。例えば、「学校から帰る際に普段と違った道を通ったら、自分が今までずっと探し求めてきたようなお店が見つかった。」「たまたま図書館で手に取った本に書いてあったことに興味をもち、すっかり夢中になってしまった。」「校内で落とし物を拾って、届けてあげたその子に話しかけてみたら、後に親友になった。」など、少し出来すぎのような感じもしますが、これらに近い経験は、思い返してみると意外にあるものです。

残念なことに、「いつもと同じ」「計画通り」に物事を進めているだけでは、セレンディピティを発揮できるような「偶然」は、なかなか起きません。長い夏休みです。あえて「いつもと違った方法で」「苦手だったり、嫌いだったものを」「思い付きで」を意識しながら何かを行う時間を、短時間でも構わないので意図的につくってみてはどうでしょうか。思いがけない素敵な出会いが皆さんを待っているかもしれません。

部活動を振り返って



中3最後の引退試合など、夏休みを前に多くの部活動が節目を迎えています。今月号は、各部活動の部長さんからのコメントを一挙紹介します（茶道部は3年生の部長がいないため掲載していません）。

陸上競技部

3年間陸上部として活動してきて、陸上競技の楽しさを知ることができました。陸上競技ははっきりと記録が出る種目です。だからこそ、自己ベストが出た時の嬉しさは計り知れません。そして、この嬉しさを自分に伝えてくれたのは他でもない仲間です。特に同学年の仲間とはアドバイスし合ったり、励まし合ったりして、皆で自己ベストに向かって走り続けられました。そして顧問の先生方にも多くのアドバイスを頂き、本当に感謝しています。陸上部で良かったです！

野球部

今年はコロナ禍で活動ができないうちに先輩方が引退となったり、自分自身の怪我が重なったこともあり、チームを率いることの難しさを痛感した1年でした。しかし、限られた練習時間の中で仲間と話し合い、協力し合って少しずつチームの形が出来上がっていったと思います。また、先生方のご指導や、支えてくださった保護者の方々のお陰で、このような状況下でも最後まで野球ができたことに感謝しています。1、2年生には、充実した活動ができるよう地道に努力を重ねて、野球を楽しむ気持ちを忘れず頑張ってもらいたいです。

男子バレーボール部

男バレのです。男バレは、一部を除いて結構静かな部活でしたが、仲が良く、楽しい部活でした。3年間部活をしていて感じたのは、仲間の大切さかなと思います。バレーボールはボールをつなぐ競技だから、仲間がいないと戦えないからです。小野寺先生、肩を痛めているにもかかわらず、熱心に指導していただきありがとうございます。もうすぐ最後の大会です。このメンバーでは最後になってしまうかもしれないので、楽しみながら頑張りたいです。

女子バレーボール部

中学女子バレーボール部部長の、です。私は、3年間の活動を通し、普段当たり前のように活動できることのありがたさや、部員として持つべき感謝の気持ちを学びました。コロナ感染拡大防止のために練習時間が短くなり、いつも通りの活動ができない中でも、練習試合を組んで引率して下さった先生方、そして一緒に頑張ってきてくれた部員の皆に感謝しています。引退試合も最後までやり切るので、これからもよろしくお願ひします。

ソフトテニス部

あっという間の3年間でした。僕が一番感じたのは、「ペアの大切さ」についてです。テニスは前衛と後衛に分かれて戦う競技なので、ペアとうまくコミュニケーションをとることが必要になってきます。もっとこうした方がいいとアドバイスし合ったり、励まし合ったり、勝ったときには一緒に喜んだり。ペアとの交流は僕にとって最高の思い出です。高校になってペアは離れてしまうかもしれませんが、元気な姿でまた会えるといいなと思います。今までありがとう！

サッカー部

3年間の部活動でサッカーを通して、人として成長できたと思う。きつい練習や負けた試合は嫌だったが、それに耐えて努力することができたと思う。また、サッカー部は後援会からマスクと横断幕をいただいた。周りから応援されるチームになれたのはよかったと思う。横浜Dブロック大会では、目標を達成して県大会出場権を獲得し、優勝することができた。しかし夏の市総体は1回戦で敗退してしまった。この悔しさをバネに、次の高円宮杯で良い結果を出そう。

女子バドミントン部

バド部は、運動部には自由で緩やかな雰囲気があり、皆仲良く楽しい部活だったと思います。頼りない部長でしたが、ついて来てくれた後輩、同級生のみなさん、ありがとう。部活を通して、チームをまとめることの難しさを知れたり、自分を客観的に見られるようになったり、たくさん成長できました。高校で続ける人も、やめる人もいますが、中学バド部で学んだことを生かして、日々精進していきたいです。これからも応援よろしくをお願いします。

男子バスケットボール部

今まで、たくさん支えてくださった方々へ部長として感謝申し上げます。引退試合では、みなさまの応援のおかげで3回戦まで進むことができました。本当にありがとうございました。中学バスケ部でバスケの道から離れる人も、高校でもバスケを続ける人など、人によって違いますが、中学3年間の思い出が消えることにはないと思っています。今まで、中学バスケ部を支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

女子バスケットボール部

女子バスケットボール部部長の[]です。私はこの3年間で、部活を通してたくさんのことを学ぶことができたと思っています。バスケットボールは屋内で、しかも接触の多いスポーツのため、コロナ禍でたくさんの不自由なことがありました。しかし、先生方やたくさんした後輩達、チームメイトのおかげで、悔いもなく引退することができました。楽しい時間、体験をありがとうございました！

女子硬式テニス部

この3年間で今改めて振り返ってみると、一瞬だったように感じます。これは私が部活を思いっきり楽しめていたからであり、その部活の支えとなっていた先生方や先輩、後輩の皆さんへはとても感謝しています。同学年の部員が少なかったのもあって、なかなか個性豊かな部活でしたが、その中でも互いに協力する雰囲気が私は好きでした。「引退しても私たちはチームだ。」という仲間の言葉を借りるなら、その“チーム”がこれからもずっと素敵な思い出となりますように。

男子ハンドボール部

みなさん、こんにちは。男子ハンドボール部部長の[]です。今、市大会が開催されており、準々決勝進出を決めました。このような時世の中で開催できたことに感謝しています。また、準々決勝まで行けるような実力を育ててくださったコーチ、先生方、保護者の方々にも感謝しています。3年間かけて築いた技術や絆を武器として、市大会優勝、県や関東大会出場を目標として頑張っていくので、引き続き応援をよろしくをお願いします。

演劇部

3年間とても濃い時間を過ごすことができました。性格が違いすぎてたくさん話し合いをして、怒鳴り合って、結局は笑い合って……。平穏な期間がなかったように感じます。私たちが直接つくることができたものは少なかったけれど、1つ1つを笑い合いながら全力で取り組んできました。次の公演は、最初で最後の大会です。その後は最後の公演、南高祭です。先生方、先輩方、同輩、後輩に感謝して、ベストを尽くしましょう！自身と自信を持って舞台をむかえましょう！

科学部

私は科学部で研究をしてきて、多くの人に助けられました。だから支えてくれた人たちへ一言ずつ書きたいと思います。蛭田先生、素敵なテーマに出会わせてくださりありがとうございます。8期のみんな、いろいろな場面で協力してくれてありがとう。9期のみんな、次は君たちが3年生です。がんばってね。10期のみんな、素敵なテーマに出会えるといいね。そして副部長、いつも支えてくれてありがとう。最後に、みなさん3年間本当にありがとうございました。

吹奏楽部

今年度、吹奏楽部で部長を務めさせていただいている[]です。これまで3か月部長の仕事をしていて、想像していたよりも裏での仕事が多かったです。部長という立場に正直あまり実感はわいていませんが、これからも部活の仲間達のためにサポートしていきたいと思っています。最後になりますが、先日のサマーコンサートに来てくださった方々など、日頃より吹奏楽部を応援してくださっている皆様に、心より感謝を申し上げます。

弦楽部

弦楽部での活動は今や私の原動力であり、何より私は弦楽部のみんなと奏でる音楽が大好きです。私たちの学年は全員が弦楽器未経験での入部という弦楽部の中では異色の学年ですが、みんなのスタートが一緒だったからこそお互い助け合ってここまで頑張ってくることができました。私たちを支えてくださっている方々への感謝と、くだらないことで笑い合えるような最高に愛しい時間を大切にしながら、残りの時間も私たちだけの音楽を奏でていきたいと思っています。

美術部

美術部部長の[]です。中学美術部自体始まって1年と少ししか経っていません。ですが、百貨店とのコラボや海洋プラスチックゴミについてのクジラの作品を作るなど、美術部に入ったからこそできたことが多くあったと思います。後輩のみなさんへ、美術というのは個人作業であり、周りの人との会話が少なくなってしまうがちなので、自分の作品をほめてくれる友達の存在を大切にしていってほしいなと思います。

書道部

書道部新入生日記 ○月○日 書道部の部長に会った。名前は[]だった。○月○日 原始人がいた。フェイスシールドを腰に巻き踊る[]だった。○月○日 書道展で誰かが銀賞をとった。この流れでまさかと思った。かじ先輩だった。私は金賞だった。○月○日 新1年生が入り12人所帯となった。源氏パイの取り分が1枚減った。余りパイが消えた。パクリと音がした。11本の筆が放物線を描いて犯人に刺さった。[]だった。